

ここが聞きたい！ 一問一答

代表質問
4 会派
個人質問
5 人

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆様の声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

※代表質問は3・9月定例会で行われます

● 質問ルール ●

代表質問
質問時間

20分+
会派人数
×5分

個人質問
質問時間

1人
30分以内

質問回数

回数制限
無し

次回は
12月
定例会

QRコードを
読み取ると過去
の動画を視聴する
ことができます♪



おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。質問の様子はHPに会議録及び動画を公開しています。ぜひご覧ください。

※動画は定例会から約1か月後に公開します。

次回質問日(予定)

12月 7日(木) 個人
8日(金) 個人
11日(月) 個人

9時30分から!



答 市内に分娩の環境を整えるということも、市内にお住まいの方はそれが一番安心だと思うが、併せて妊婦一人一人の現状を考える、できれば大きな病院で出産をしていただいて、安心してどういふことがあってもしつかりと受け止めていただけるような大きな病院で出産をしていただいて、そして帰っていただくということ、その途中の月々の婦人科の健診等

質 出産できる医療機関が本市になくなることとなった。本市では、市民病院の産婦人科が2018年に分娩を休止している。今後、安心して子供が産める産科医療体制の立て直しが急務になる。本市は妊婦支援は当然のこと、市民病院の産科医療体制を整えるべきと考えるが、市の考えを尋ねる。

質 何としても市民に自己完結をしていく体制を整えるんだということ、2代にわたる市長が、また3代にわたる病院院長が全国を飛び回って医師を確保し、その体制の復活を整えたという市もある。ぜひ、そこは諦めずに取組を進めていただきたい、そのように切に願う。何とかこの医療体制を本市で完結できることを強く望む。

その他「公共交通」「イノシシ駆除」について質問しました。

関係しては、しっかりと市内で受け入れ体制をつくっていくという分野をこれからは進めていかざるを得ない。市内で自己完結しないというところが今後のポイントになると思う。

笠岡市よ！子供が産める医療体制の復活を諦めないでくれ！



公明党

質問者

さいとうかずのぶ
齋藤一信議員



所属議員

おおもとくにみつ
大本邦光議員